

## ○選択領域

|            |   |
|------------|---|
| 講習番号       | 選-2   |
| 講習名        | 歴史学の最前線—研究・調査の現場  |
| 日程・時間      | 8月4日(火) 9:15~16:45  |
| 時間数        | 6時間   |
| 受講料        | 6,000円  |
| 担当講師       | 中村 仁志、西本 昌弘、新谷 英治、黒田 一充   |
| 募集人員       | 70人   |
| 概要         | <p>日本史および世界史分野の担当者4名が各自の専門とする研究領域における重要テーマ、歴史学において焦点となっている問題について具体例を交えながら分かりやすくお話しします。</p> <p>各講義の内容は次のように予定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①住吉大社境内の石燈籠(黒田 一充)</li> <li>②東アジア史のなかの「国風文化」(西本 昌弘)</li> <li>③日本のマシジドから見える世界(新谷 英治)</li> <li>④世界史における過去と現在の対話(歴史的事象の後世への伝達)(中村 仁志)</li> </ul> |
| キーワード      | 「近世の文化交流」、「国風文化」、「日本在住ムスリム」、「歴史的事象の伝達」  |
| 受講者へのメッセージ | <p>歴史学は何を、どのように研究する学問なのでしょうか。日本史および世界史の諸分野を専攻する4名の担当者が、各自の研究領域における研究手法と成果をお話しします。キーワードに示されている事柄を中心にしつつ、歴史学上の様々な問題を時代や地域を越えて横断的に比較検討して広い視野で歴史を考える機会にしたいと願っています。受講者の方々が日頃授業をされるに当たり、参考にさせていただけることがあれば幸いです。</p>  |
| 対象免許種(校種)  | 教諭  |
| 主な受講対象者    | 主に中学(社会)・高校(地理歴史)担当教諭   |